

2023(令和5)年5月27日 / 大正大学附属図書館

シンポジウム「学校司書の社会的地位の向上をめざして」

学校司書の社会的地位の向上のための方略

大正大学教授, 附属図書館長
図書館情報メディア部長
稲井達也

1. 学校司書の資質・能力の向上

- ・学習指導要領に対する理解を踏まえた学校図書館の活用への理解
- ・Z世代、デジタル・ネイティブの特性への理解
- ・多様な学校図書館メディアを活用した学びへの理解 web だけではなく NIE も含む

2. 専門研修の必要性

(1) 教育委員会による専門研修の実施

- ・学校司書の研修だけではなく、司書教諭と学校司書の合同研修も実施する
- ・学校司書相互の情報交換・共有の場を研修として設ける

(2) 学校図書館担当指導主事の資質・能力の向上

- ・学校図書館活用に関する基本的な知識を身につけた指導主事を育成する

3. 学校司書モデルカリキュラムの普及

(1) 学校司書モデルカリキュラム(文部科学省)に基づく大学の学校司書課程の充実

- ・担当教員の確保とカリキュラムの充実

(2) 学校司書モデルカリキュラムの認知度の向上

4. 学校司書が働き易くなる学校の環境整備

(1) 管理職の意識の醸成

- ・校長が図書館長という意識の醸成を図る

(2) 教員との協働性の構築

- ・校長、教頭・副校長、主幹教諭が中心となって、学校図書館の読書活動や学習活動に対する教職員の理解を図る
- ・学校図書館を活用する読書活動や学習活動が円滑に行われるための教諭や司書教諭の協力による学習支援体制の確立

5. その他

- (1) 教員養成の観点から、教職課程科目「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む)」などのコアカリキュラムに学校図書館を活用した読書活動・学習活動を入れる。